

## R6 奈良県里親支援ニーズ調査（アンケート）公表

R7.11.11 奈良県委託等推進委員

日頃は児童福祉活動にお力添えを賜り、誠にありがとうございます。さて、奈良県では、里親支援の質の向上に資するため、里親登録をされている皆様にアンケートを実施いたしました。このほど、集計が終わりましたので、単純集計を公表いたします。

### 【概要】

○目的：里親支援のニーズを図り、里親支援の質の向上に資する。

○対象：奈良県内の里親家庭及び奈良県内の委託児童を受けている奈良県管轄外の里親家庭、奈良県内のファミリーホーム

○期間：令和7年3月5日～3月31日

○実施者：奈良県里親委託等推進委員会（構成機関は以下の通り）

※奈良県こども家庭課、奈良県中央こども家庭相談センター、奈良県高田こども家庭相談センター、奈良県里親会、奈良県ファミリーホーム協議会、里親支援専門相談員、里親センターなら

○参考文献：伊藤嘉余子(2018). 里親家庭における養育実態と支援ニーズに関する調査研究事業報告書, 平成 29 年度厚生労働省子ども・子育て支援推進調査研究事業・課題番号 14, <97A2906592B28DB8566572332E786C73>.

才村眞理(2019). ライフストーリーワークにおける就職前の事前学習の意義. 帝塚山大学教育学部紀要, 1, 66 ~ 74.

○回答方法：郵送による調査票の配布、及び Google フォームを利用したオンラインの調査。

○回答者数：有効票 80（調査票 30・Google フォーム 50）回収率 51%

### 【注】

- ・個人が特定される可能性のあるもの、もしくは対象を絞りやすいものに関しては公表を控える。
- ・質問（7）について、親族里親の場合、動機が委託理由に直結するため、公表を控える。
- ・質問の内容がわからない、質問に答えたくない、誤った回答方法をしているものは、その解答のみ無効票とし、集計から除外する。
- ・記述文は、要約したものを公表する。要約には、一部 Microsoft Copilot を使用した。
- ・複数の要素が含まれる記述文については、文を分割・分類し公表する。

### 【問い合わせ】

○里親センターなら（担当：阪口・原田）

〒632-0018 奈良県天理市別所町 715 番地 3

・TEL 0743-85-5567 ・FAX 0743-68-1721 ・Mail [foster-support@welfaretenri.com](mailto:foster-support@welfaretenri.com)

**A.基本事項**

(1) あなたのお名前と、お住まいの市町村を教えてください。\*任意

名前・市町村記載 65/80

(2) 現在、同居している児童（18歳未満）について、それぞれ記入してください。\*任意

種別	0人	1人	2人	3人	4人
委託児童	19	26	6	6	2
養子	41	10	0	0	0
実子	24	18	5	6	1
孫	35	2	1	1	1

(3) 里親の種別について、あてはまるものすべてに○をつけてください。\*複数回答可

養育	養子	専門	親族	FH
59	25	4	3	4

(4) 里親登録されてからの期間について、あてはまるものに○をつけてください。

1年未満	3年未満	5年未満	10年未満	15年未満	15年以上
9	10	19	19	12	11

(5) これまでに受け入れた児童の人数を記入してください。

\*再委託がある方は延べ人数を記入してください。一時保護委託から委託措置に切り替わった児童は、委託児童に数え上げてください。

種別	0人	1人	2人	3人	4人	5人以上
委託児童	15	29	8	4	2	15
一時保護児童	53	6	5	3	1	6

(6) 年齢について、あてはまる欄に○をつけてください。

\*ご夫婦（パートナー）で里親登録している場合は、それぞれにご記入ください。

種別	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
里親①	0	5	21	31	13	8
里親②	0	8	34	27	9	3

## B.里親支援

(7)里親になろうと思った動機についての質問です。あてはまるものに✓をつけてください。

\*複数回答

1.子どもが欲しかったため（養子の希望あり）		22
2.子どもが欲しかったため（養子の希望なし）		1
3.養護問題（虐待・孤児等）に関心があったため		45
4.実子の子育てがひと段落したため		17
5.子どもが好きだから		33
6.社会的に意義があると思ったため		51
7.周りに里親をしている方がいたため		22
8.周囲（知人・友人など）にすすめられたため		7
9.実子にきょうだいがいた方がいいと思ったため		2
10.その他		8

### その他

- ・義母のすすめがきっかけ。
- ・子どもの命を支える手助けがしたいという思いから。
- ・天理時報の特集記事に感銘を受けたから。
- ・現代の児童虐待問題への関心と危機感から。

(8)里親制度を広めるために、効果的だと思う方法について、あてはまるものに✓をつけてください。

\*複数回答可

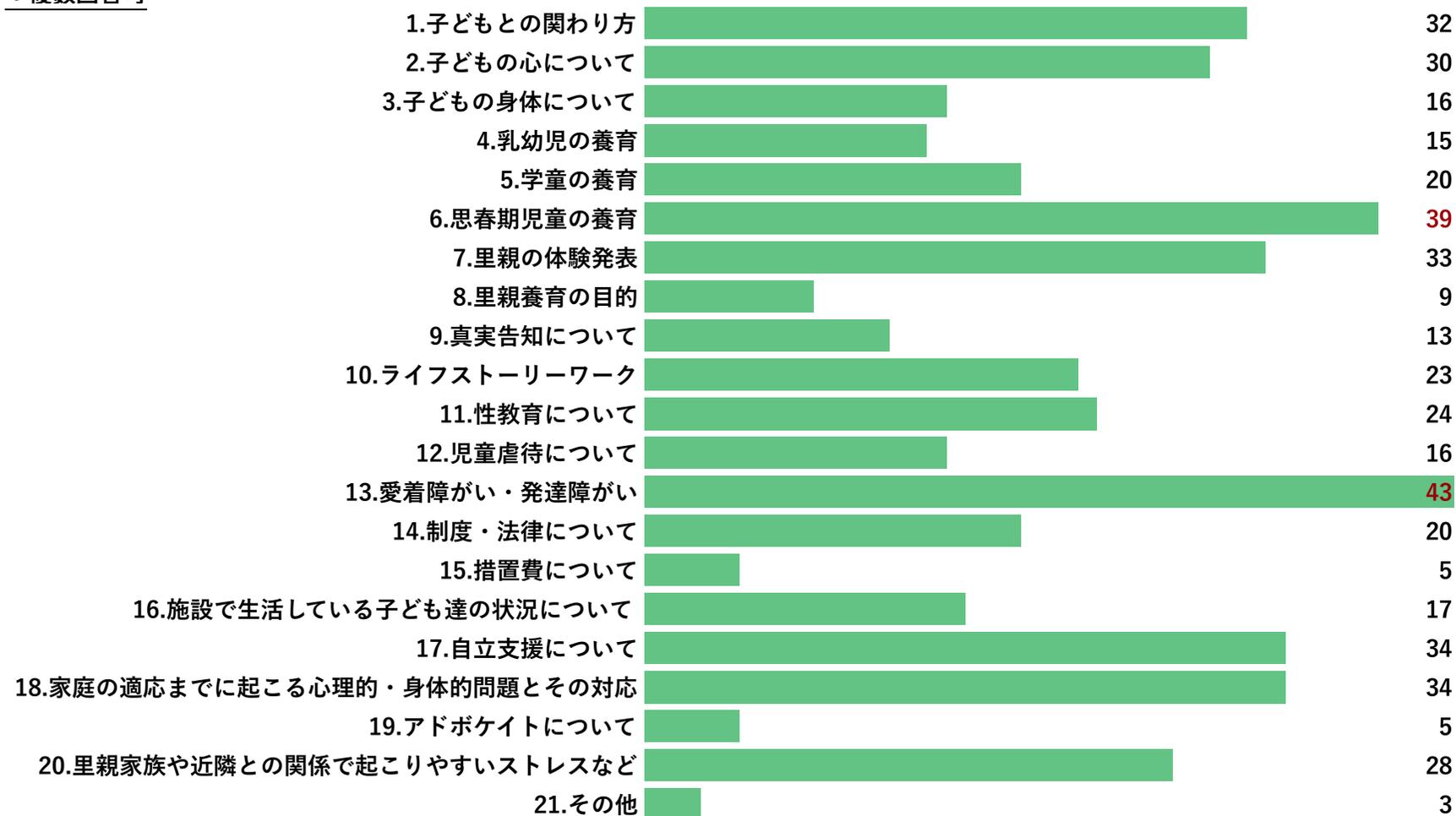
1.街頭でのチラシ配り		20
2.SNS (Instagram・LINE等)		47
3.広報誌の掲載		36
4.商業施設でのブース出展		28
5.駅での広告看板の設置		25
6.インターネット広告		33
7.その他		17

#### その他

- ・社会活動団体（ファミサポ、保護司、保育士など）への研修機会の提供。
- ・地域ごとの里親制度説明会の開催。
- ・不妊治療クリニックや産婦人科へのポスター・パンフレット設置。
- ・児童相談所との連携。
- ・委託中の里親がママ友などの集まりで制度を紹介。
- ・里子や施設出身者の声を社会に届ける。
- ・里親との交流や誘いを通じた理解促進。
- ・学校関係者・保護者への周知を、学校を通じて行う。
- ・身近な里親の存在を活かした啓発活動。
- ・テレビCMやショートステイ制度の広報。
- ・クチコミや対話による具体的な説明。
- ・保育園・幼稚園・学校での講演会開催。
- ・子育て支援施設やクリニックでのチラシ配布。

(9)里親として、どんなテーマの研修を受けてみたいか、あてはまるものに✓をつけてください。

\*複数回答可



その他

- ・参加対象が里親のみの研修
- ・レスパイトについて
- ・子どもが受けた心の傷について

(10)児童の委託前に行ってほしい里親の支援について、必要だと思うものに、✓をつけてください。

\*複数回答可

1.委託児童と里親家族との関係調整	32
2.委託児童が通う予定の教育機関との調整	53
3.初期に起こる様々な課題に関する相談	37
4.委託児童との関係を構築するための助言指導	35
5.交流中の家庭訪問	22
6.委託前に里親と里親支援機関等との関係を築く支援	24
7.里親家族全員の思いを確認する支援	13
8.児童の成育歴についての情報提供	53
9.里親委託に向けて児童への気持ちの確認	37
10.里親委託理由について児童の理解を促す支援	30
11.里親宅での生活についての児童への説明	32
12.委託後困ったときどこに相談したらよいかの説明	35
13.その他	4

#### その他

- ・先輩里親の紹介・交流
- ・里親に対する施設からの支援。委託前後の丁寧な情報共有。
- ・生活費や里親手当について。

(11)~(15)は、委託児童を受けている(または受けていた)里親さんに質問です。設問文を読み、回答してください。

(11) 児童が里親家庭に来るまでの支援について、助かったこと、良かったことがあれば記載してください。

**【委託前の交流・準備】**

- ・乳児院での繰り返しの交流により児童との信頼関係が築け、自信につながった。
- ・事前のお泊まり体験や段階的な訪問（面会・日帰り・一泊）で児童が家庭に慣れる機会があった。
- ・ライフストーリーワークや心理士の助言により、児童の心の準備が整えられた。
- ・委託児童の性格や癩癩などの情報提供があり、対応の心構えができた。

**【関係者との連携・支援】**

- ・一部の児相職員によるマッチング調整が良好だった。
- ・児童相談所（児相）や施設職員との信頼関係があり、丁寧な説明・調整・助言が行われた。
- ・学校・役場・市役所との連携により、教育・医療・行政手続きの支援が受けられた。
- ・委託児童の通う学校からの支援や事前調整が心強かった。
- ・第三者の介入により、里親・里子双方が安心して相談できる環境が整った。

**【情報交換・学びの場】**

- ・里親会やおしゃべり広場、近畿大会などで他の里親の体験談を聞き、心構えができた。
- ・先輩里親との交流が参考になり、実子との養育経験も共有された。
- ・面談や応援会議、生育歴の説明などを通じて児童理解が深まった。

**【物的・制度的支援】**

- ・衣服やおもちゃの譲渡、物品の貸し出しなどの支援があった。
- ・銀行・住所登録・予防接種・健診などの手続き支援も助けになった。

(12) 児童が里親家庭に来るまでの支援について、困ったことがあれば記載してください。

**【情報不足・連携の課題】**

- ・初めてで分からないことの戸惑いがあった。
- ・子どもの情報（生育歴、相談歴、ケース記録など）が不十分または誤っていた。
- ・子家相・施設・里親間の連携が不十分で、児童の心情や教育的ニーズへの対応に支障があった。
- ・「週末里親」の立場では権限がなく、相談しても対応されず虚しさを感じた。

**【ヒアリングと児童理解の重要性】**

- ・委託前のヒアリングで児童が本心を偽っていたため、委託後に困難が生じた。
- ・年齢が高い児童には、繰り返し丁寧な説明と想像力を促す関わりが必要。

**【制度・手続き面の不備】**

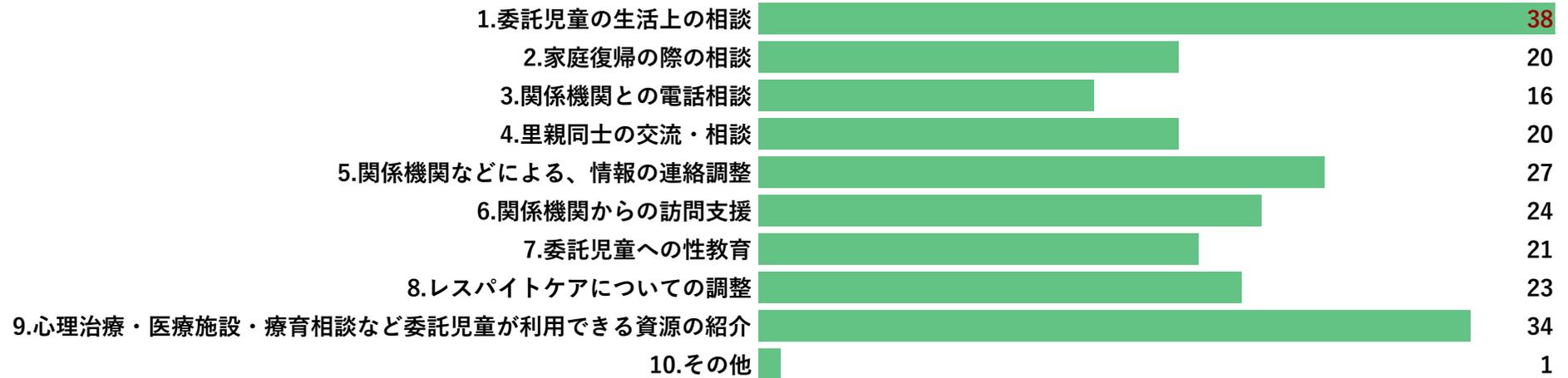
- ・生活費や里親手当の支払い時期についての説明がなかった。
- ・学校入学と登校日程が近く、制服準備が困難だった。
- ・通学定期の購入に時間がかかり、学校との事前調整が不足していた。
- ・保育園入園の点数が、マッチングのための休職で下がってしまった。

**【担当者・支援体制への要望】**

- ・子育て経験のある担当者による実践的なアドバイスが望ましい。
- ・家庭訪問時の対応が厳しく、初めての里親経験に戸惑いがあった。
- ・家庭訪問の際、小さなゴミにも厳しかった。

(13)里親委託中にあなたが必要だと思う支援に✓をつけてください。

\*複数回答可



**その他**

・委託前に里子のことを分かっている施設職員との TEL 相談。

(14)委託中の支援について、助かったこと、良かったことがあれば記載してください。

**【支援体制の充実】**

- ・ 児童相談所（児相）や里親支援センターによる定期訪問・相談対応が心の支えになった。
- ・ 困った時に相談できる支援員の存在が安心感につながった。
- ・ 関係機関との連携（福祉・学校・放課後デイサービスなど）により視野が広がった。

**【情報・交流の場】**

- ・ 施設から児童の生活・精神面の情報が共有され、対応に役立った。
- ・ 里親同士の交流（おしゃべり広場など）で悩みを共有できた。
- ・ 同年代の児童と出会える場があり、友達づくりのきっかけになった。ご近所や親族の理解に助けられた。

**【経済的支援】**

- ・ 養育費・生活援助金・入学準備金などの支援があり、衣服・食費・おもちゃなどの負担が軽減された。
- ・ レスパイト（一時預かり）制度の活用により、急な事態にも対応できた。

**【実子・里子への配慮】**

- ・ 実子への支援（セラピーやアドボケイト訪問など）により、家族全体の安心感が高まったこと。
- ・ セラピーの提供など、里子の心のケアも行われたこと。

(15)委託中の支援について、困ったことがあれば記載してください。

**【子どもとの関係・調整に関する課題】**

- ・子ども同士の関係調整が難しい。実子と里子、または里子同士の関係構築に苦勞する場面が多い。
- ・初めての「試し行動」への戸惑いがあった。児童の心の動きに対する理解と対応が求められる。
- ・発達障害児への対応について。専門的支援や情報が不足しており、対応に困難を感じる。

**【経済的支援・制度運用の課題】**

- ・養育費終了後の補助が不透明。支援があると聞いていたが実際にはなく、説明不足に不満。
- ・大学進学に向けた情報不足。進路に関する手続きや支援制度が分かりづらく、同じ立場の里親とのつながりを求めている。

**【支援体制・連携の課題】**

- ・関係機関への相談先が不明確。どこに連絡すればよいか分からず、困る場面が多い。
- ・児相担当者の頻繁な交代に困った。継続的な支援が難しく、信頼関係の構築に支障。
- ・土日の緊急対応が困難。問題行動が起きても連絡が取れず、対応に苦慮。
- ・レスパイトの手続きが煩雑。もっと気軽に利用できる仕組みが必要。
- ・担当者による対応のばらつきがある。連絡や調整が後手になることもあり、マニュアルの統一が望まれる。

**【教育現場・地域理解の不足】**

- ・学校教職員の理解不足に困った。社会的養護児童や里親制度への認識が浅く、共感が得られにくい。
- ・校区に施設や里親が少ない。制度の存在自体が知られておらず、孤立感を抱くことも。

**【実子への配慮】**

- ・訪問支援のタイミングを考えてほしい。里子中心の支援が多く、実子への配慮が感じられない。

**【自己成長の視点】**

- ・経験と失敗から学んでいる。困難な状況も自分の成長につながっている。

(16)現在、委託児童を受けていない里親さんに質問です。必要だと思う支援について✓してください。 \*複数回答可 25件回答

1.支援者による家庭訪問	9
2.委託までの研修	7
3.子どもとのふれあい体験	16
4.その他	0

(17)児童を受け入れる前に必要だと思う支援や、要望がございましたら自由に記載してください。

**【制度・支援体制の整備】**

- ・公的支援制度の内容や範囲を明確にしてほしい。支度金にオムツなどの消耗品も含めてほしい。
- ・里親は「支援する側」であると同時に「支援を受ける側」であるという認識が必要。
- ・経験豊富な支援者が身近にいることが安心につながる。
- ・里親研修の充実が必要。

**【交流・関係構築の重要性】**

- ・委託前に児童と里親家庭が十分に交流できる機会が必要。
- ・児童が「この里親に行きたい」と思える関係づくりが大切。
- ・里親同士や先輩里親との継続的なつながりが不安軽減と自信につながる。
- ・同年代の里子がいる家庭との交流ができる場がほしい（遠方のサロンは課題）。

**【児童への配慮】**

- ・児童の性格や心のケアを理解したうえでの受け入れ準備が必要。
- ・定期的な交流を通じて児童との信頼関係を築くことが望ましい。
- ・乳児院など施設からの委託を希望する声もあり、交流期間の確保が重要。

**【レスパイト支援の柔軟性】**

- ・実子の入院など緊急時に、普段から交流のある里親家庭にレスパイトをお願いできる選択肢があると助かる。

(18)里親サロンやイベントについての質問です。あなたが必要だと思うものに✓をしてください。

\*複数回答可

1.すべての里親が自由に集まれるサロン	36
2.里親の種別ごとに集まれるサロン	32
3.委託児童の年齢ごとに集まれるサロン	26
4.オンラインサロン	11
5.里親の地域ごとに集まれるサロン	35
6.季節のイベント（クリスマス会・節分等）	28
7.バス旅行	27
8.キャンプ	20
9.その他	6

#### その他

##### 【交流の機会と参加のしやすさ】

- ・里子の年齢や里親経験年数が近い者同士で集まれる機会があるとよい。
- ・実子向けのサロンがあるとよい。
- ・土日開催のイベントが多く、仕事の都合で参加が難しいため、Zoom などオンライン交流の導入が望ましい。
- ・バス旅行など、仲間意識を育むイベントの開催がありがたい。

##### 【支援体制の充実】

- ・子どもに問題が生じた際（例：ゲーム課金など）、相談できる窓口が必要。
- ・委託未経験者にとっては制度や流れが不明で、情報提供が求められている。

##### 【地域格差・アクセスの課題】

- ・天理・桜井のおしゃべり広場は遠方で参加が難しい。
- ・奈良市子どもセンターのサロンは参加者が少なく、北西部地域での里親同士のつながり強化を望む。

(19)委託児童の巣立ちに向けての支援（自立支援）について、必要だと思うものに✓をつけてください。

\*複数回答可

1.進路選択についての相談	51
2.委託解除に向けた委託児童の思いの確認	48
3.委託解除に向けた里親さんへの思いの確認	24
4.奨学金などの社会的資源の説明	64
5.委託解除後の問題行動に対応するための詳細な目標立て	32
6.委託解除後の児童への支援（児童へのアフターケア）	60
7.委託解除後の里親さんへの支援（里親へのアフターケア）	19
8.委託解除後でも児童が利用できる施設などの社会的資源の紹介	57
9.その他	0

(20)里親制度や、里親支援全般について、思うことがあれば記載してください。

**【制度に関する要望・課題】**

- ・福利厚生・手当の充実を求む。里親の経済的負担軽減のため、手当や支援制度の拡充を望む。
- ・行政・医療機関の理解不足。市政・県政・医療機関における里親制度への理解が不十分である。
- ・社会的養護児童への理解促進。学校教職員や地域社会に対する啓発が必要。
- ・偏見・差別の解消が必要。里親や里子に対する誤解や偏見をなくし、制度の「当たり前化」を目指すべき。
- ・本人確認に課題がある。受診券のカード化やマイナンバーに代わる身分証の整備が求められる。

**【啓発活動への期待】**

- ・メディア活用すべき。テレビやSNSで「預けてもいい」というメッセージを広く発信してほしい。
- ・制度の認知不足。制度の存在は知られてきたが、具体的な内容や手続きが分からない人が多い。
- ・未委託里親のモチベーション維持。委託の機会が少ないことで登録者の意欲が低下している。

**【研修に関する要望】**

- ・実子向け研修が充実していない。海外の事例を参考に、実子への研修も義務化・体系化してほしい。
- ・柔軟な研修形態が必要。オンラインやアーカイブの活用で参加しやすくしてほしい。

### **【委託支援・支援体制の強化】**

- ・ 支援者の質と連携は重要。業務能力と人間性の両立、支援者同士の連携が重要。
- ・ 人材不足を解消してほしい。児童相談所の担当者不足や頻繁な交代には不満がある。
- ・ 地域格差の是正してほしい。都道府県や市町村による支援の差をなくしてほしい。

### **【サロン・交流の充実】**

- ・ 地域交流を強化して欲しい。北西部など地域ごとの里親交流の場の整備。
- ・ 養子里親と養育里親の交流は大事。区別なく話し合える場が安心につながる。

### **【自立支援への期待】**

- ・ アフターケアの費用補助が欲しい。巣立ち後の支援が不十分で、金銭面の不安が大きい。
- ・ 継続的な関わりは大事。社会的に支援が必要な子どもに対して、長期的な支援機関の存在が望まれる。

### **【レスパイト（休息支援）】**

- ・ 親族への預け先として登録させてほしい。緊急時に親族が預かれるよう制度整備を希望する。
- ・ レスパイトをもっと気軽に利用できるよう整備してほしい。委託中の里親家庭にも柔軟な支援を求む。

### **【感謝・激励の声】**

- ・ 支援者への感謝と期待がある。
- ・ 安心して話せるスタッフの存在は大きい。子どもたちへ寄り添ってくれるのがありがたい。

### **【その他の声】**

- ・ 委託状況の情報不足への不安がある。委託の現状や必要とされているかどうかの情報が届かず不安を感じている。
- ・ 制度の広報は進んでいるが、実態とのギャップがある。